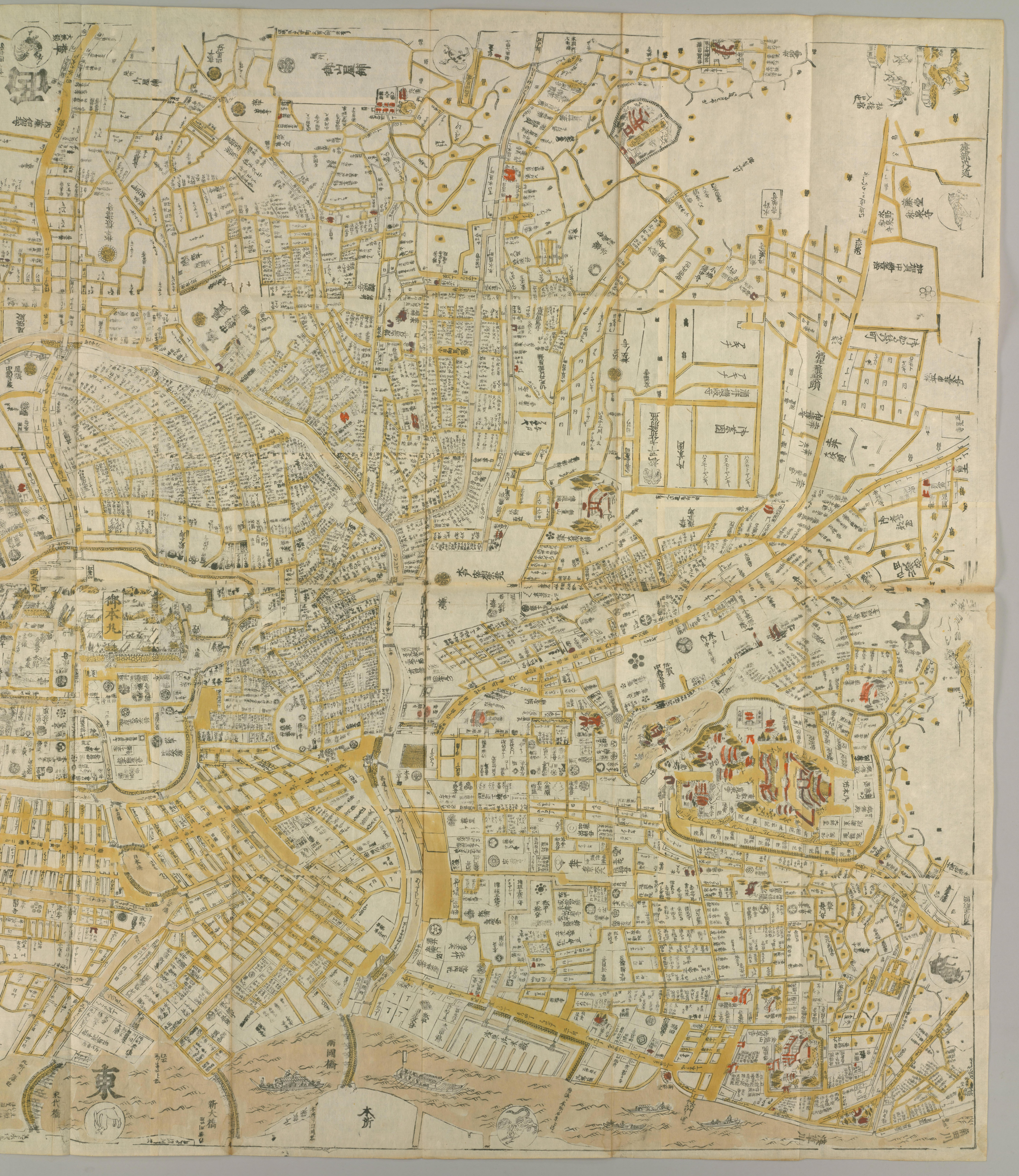
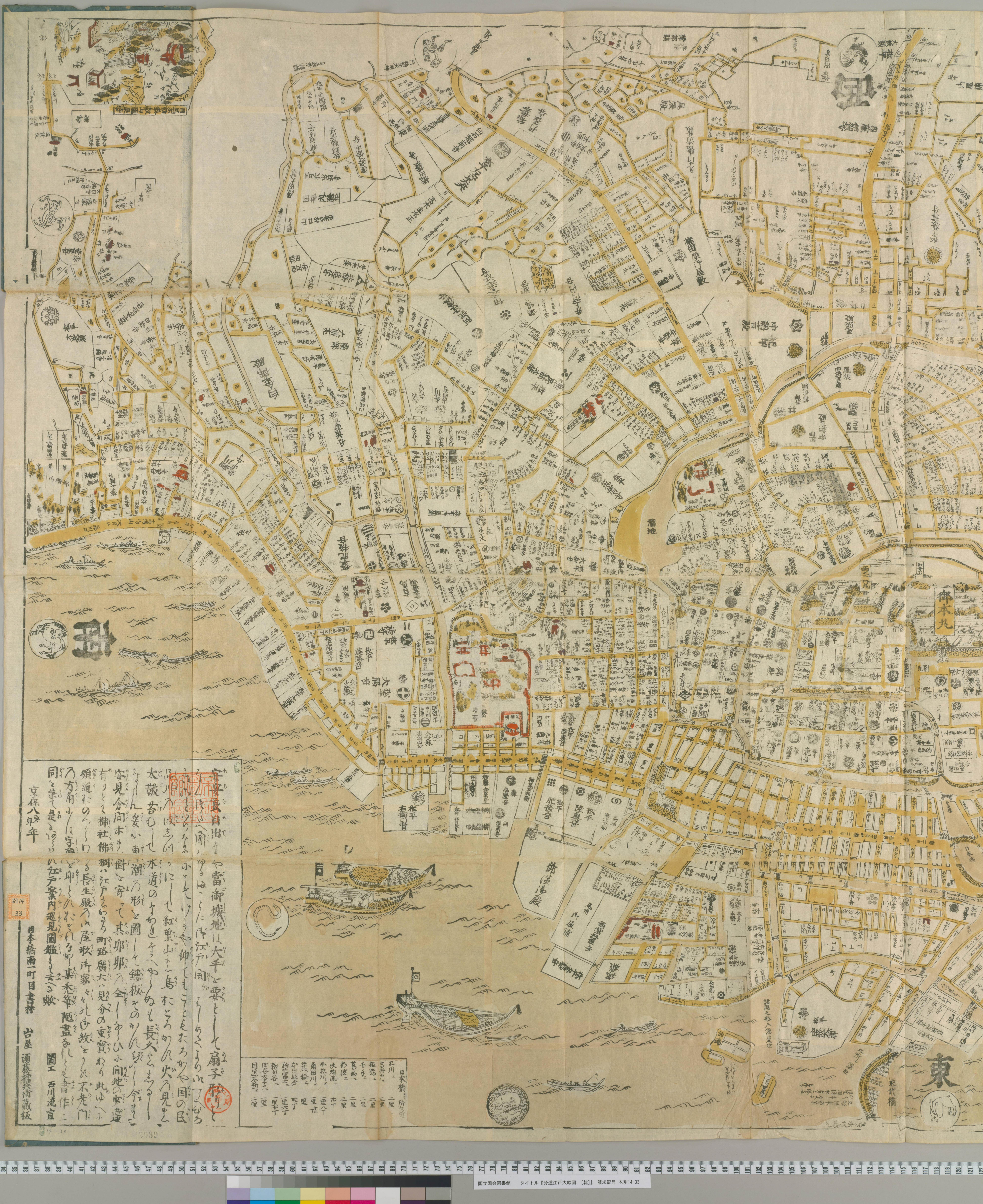
分道江戸大繪圖

別14
33


北
東
御本丸
両國橋
新大橋
永代橋
本所



寳安良日出そまや當御城地は大手を要として扇子形なりしと
たゞ[illegible]へ聞ハゆる海こしらに御江戸関ゆうしめくよりれすへそろ
さか[illegible]りそのふ小そそけりや仰てもことをたうかや国の民
品川の[illegible]波ふれにして紅葉山ふん島たとかれ火乃見ゆ
太皷苔むして水道のなかとそまへかしぬも長久ならまさし
みかしん髪小雨潮乃形を圖して鏤板そのかん紙し今まで
安見分間木ゆしく圖を寄せて其卵卵乃全しあつひ小間地の安違
有りとし神社佛閣ハ江戸まかるり町路廣大ハ見分の重寳なり此ゆへ小
順道たのふかける長生殿乃れ屋敷御家々々みれを紋をうれ不老門
乃方角ゆしは字頭と卯とれたそれなかし~~集~~禿筆陋畫なれしとも書作三
同と兼て是をのかれハ江戸案内巡見圖鑑とも云へき歟

享保八癸卯年

日本橋南一町目書林
岀屋 須藤權兵衛藏板

圖工 石川流宣

日本橋ヨリ所々道法

品川エ 二里
高井戸エ 三里
板橋エ 二里
千住エ 二里
葛西エ 二里
行徳エ 三里
鉄炮洲エ 九丁
小松川エ 一里八丁
角田川エ 一里廿丁
箕輪エ 一里
本郷追分エ 廿丁
駒込冨士エ 一里六丁
雑司谷エ 一里十丁
四谷大木戸エ 一里
目黒不動エ 二里

別14
33

14-33
2039